

【はじめに】

全国消防本部に対するアンケート調査から、2010年の1年間に734件の病院前分娩事例があったとされています。また、妊婦にとって産科的疾患を除けば死亡原因の第1位は外傷ですが、2011産婦人科診療ガイドラインによると年間約1万人の妊婦が交通事故に遭遇し、20人前後の妊婦が外傷により死亡しているものと推定されています。

日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対する ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) プロバイダーコースに対し、周産期医療が非日常的な医療従事者対象のコースが BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) です。

【BLSO とは】

上記アンケートでは、病院前周産期救護教育に対する要望が 9 割近く認められました。「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダーの全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医・小児科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立った内容です。

※修了者は米国家庭医療学会 AAFP と ALSO-Japan が認定する 5 年間有効な認証を受ける事ができます。

日 程： 平成 27 年 10 月 10 日(土) 8:30～18:00 (予定)
開催場所： 山梨大学医学部 看護学科教育研究棟 1階
受講料： 8,000 円
定 員： 12 名 (予定)
主 催： 山梨大学医学部産婦人科
共 催： NPO法人周産期医療支援機構
今回参加者の公募はありません。

申込み・問合せ先：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部産婦人科学教室 深澤 宏子

TEL:055-273-9632 FAX:055-273-8719

E-mail: fhiroko@yamanashi.ac.jp

【はじめに】

全国消防本部に対するアンケート調査から、2010年の1年間に734件の病院前分娩事例があったとされています。また、妊婦にとって産科的疾患を除けば死亡原因の第1位は外傷ですが、2011産婦人科診療ガイドラインによると年間約1万人の妊婦が交通事故に遭遇し、20人前後の妊婦が外傷により死亡しているものと推定されています。

日常的に周産期領域に携わる医療従事者に対する ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) プロバイダーコースに対し、周産期医療が非日常的な医療従事者対象のコースが BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) です。

【BLSO とは】

上記アンケートでは、病院前周産期救護教育に対する要望が 9 割近く認められました。「産科救急に遭遇する可能性があるプロバイダーの全てが標準化されたコースを学び、救急救命士から救急部スタッフ、産科医・小児科医へと連携をとることで妊産婦死亡・後遺症を減らすことができるのではないか」という観点に立った内容です。

※修了者は米国家庭医療学会 AAFP と ALSO-Japan が認定する 5 年間有効な認証を受ける事ができます。

日 程： 平成 27 年 10 月 11 日(日) 8:30～18:00 (予定)
開催場所： 山梨大学医学部 看護学科教育研究棟 1階
受講料： 8,000 円
定 員： 12 名 (予定)
主 催： 山梨大学医学部産婦人科
共 催： NPO法人周産期医療支援機構
今回参加者の公募はありません。

申込み・問合せ先：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部産婦人科学教室 深澤 宏子

TEL:055-273-9632 FAX:055-273-8719

E-mail: fhiroko@yamanashi.ac.jp